

学識経験者の意見等

点検評価の客観性を確保するという趣旨から、学識経験者2名より意見等を聴取しました。意見等の内容は、次のとおりです。

1 点検評価の結果について（総括的意見）

第3次総合振興計画中期基本計画に掲げた教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

- ・ 目標値割り出しの根拠が不明である。
- ・ 数値目標の達成が、質の保証につながるのか否かを検討すべきである。

2 点検評価の結果について（施策、事業ごとの意見）

(1) 第3次総合振興計画中期基本計画に掲げた教育関連施策のとりくみ目標の点検評価表

- ・ <整理番号L-1>生涯学習基本計画重点プロジェクトの実施率
残るプロジェクト事業を平成22年度までに実施できるかどうか。努力する必要がある。
- ・ <整理番号L-2>スポーツ施設を利用した人数
目標値は達成しているので、利用内容を検討し、他事業との関連を検討すべきである。また、裾野の拡大と同時に、利用の仕方の開発、指導者養成などを検討すべきであろう。
- ・ <整理番号L-3>各学校における非常勤講師などの配置人数
目標値はクリアしているが、各学校に見られる問題状況を分析し、更によりよい教育の充実のための事業の検討に入ることが必要ではないか。
- ・ <整理番号L-4>校舎などの耐震化率、空調設備の改修率
予定どおりに進んでいる。目標達成に向け、継続的に取り組む必要がある。
- ・ <整理番号L-5>学校の教育活動に対する保護者・地域住民の協力者数
評価方法となる算出方法が変わったが、現在、解決が求められている課題に対応することでもあり、引き続き充実を図る必要がある。場合によっては、目標値以上を目指す必要がある。
- ・ <整理番号L-6>人権講座などへの参加者数
順調に進められている。さらに市内の企業等との関係の中で、事業の推進が求められる。人権週間に合わせた事業や啓発資料の充実によって、研修会等の参加者の増加を図るなど、達成に向けた地道な事業と努力が必要である。
- ・ <整理番号L-7>平和意識高揚の事業件数
事業内容や実施方法等に工夫が必要と思われる。
- ・ <整理番号L-8>文化活動の促進に係る事業件数
目標達成のための努力が必要と思われる。市民との連携・協力をさらに工夫すべきである。また、学校などとも協力し合い、文化事業の充実を図るべきであろう。

(2) 平成21年度教育委員会事務点検・評価表（平成20年度実施事務事業）

整理番号1～33の事務事業に対する意見等は、それぞれの点検評価票の「6 学識経験者の意見等」の欄に記載してあるとおりである。

文教大学教育学部教授、同大学院教育研究科教授 平沢 茂 氏
東京家政大学人文学部教授、同大学院文学研究科教授 山本和人 氏